

JAIC

大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2022.Jul Vol.28



23卒学生アンケート調査

就職活動の状況に関するアンケート調査

社会保険労務士が解説

学生に伝えたい、トラブルを起こさないための労働条件の知識

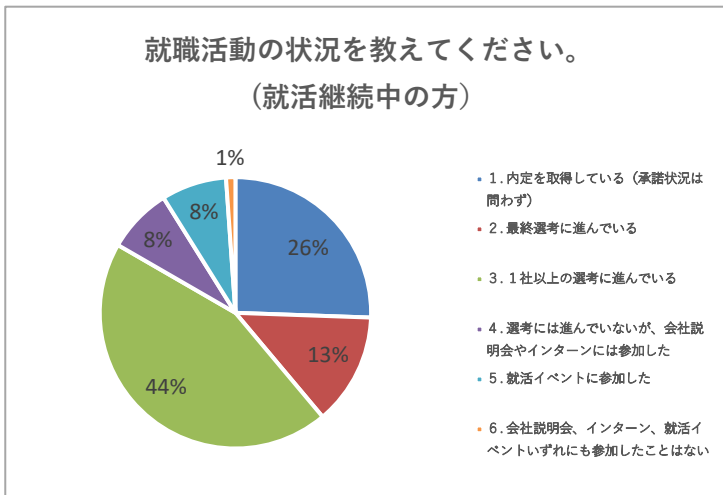
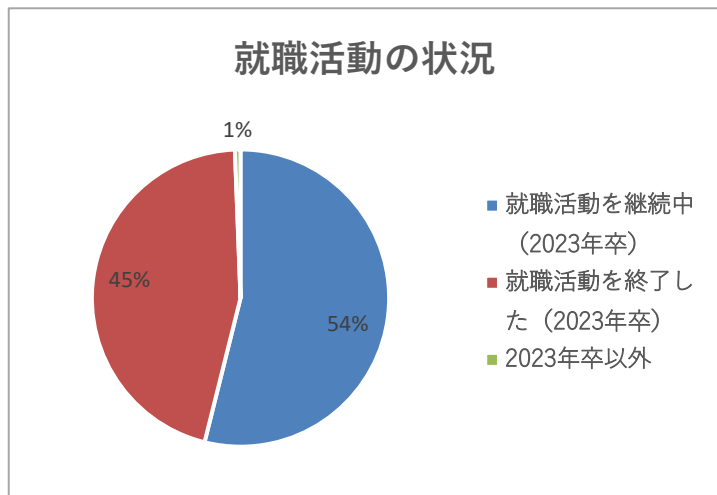
就職活動の状況に関するアンケート調査

2022年7月1日～7月5日に、23卒の学生に対して「就職活動の状況に関するアンケート」を実施しました。今回は、その結果をお伝えいたします。

※就職活動に関するアンケート 回答数：167件 期間：2022年7月1日～2022年7月5日

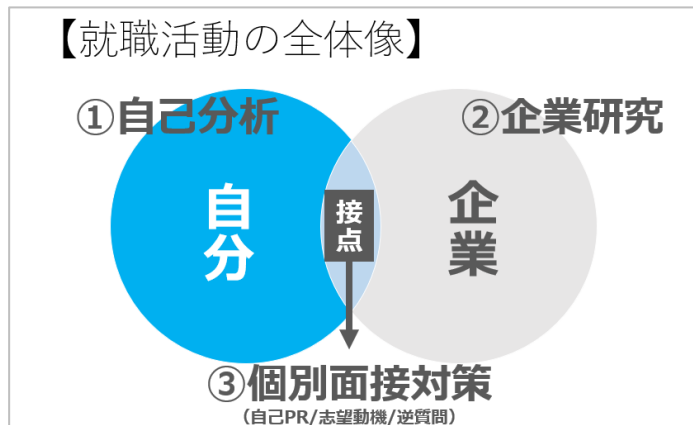
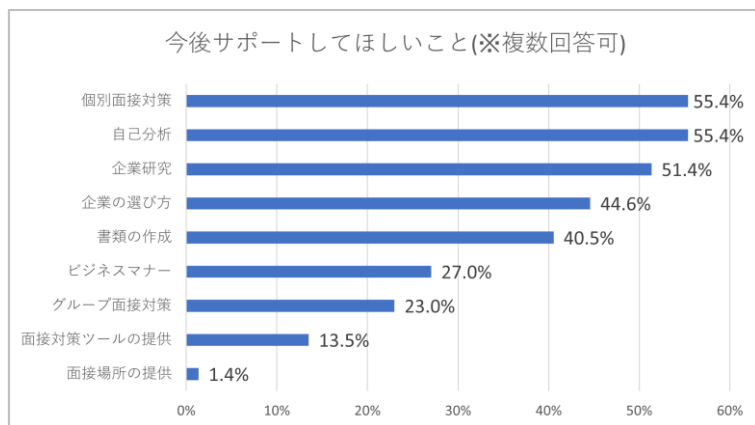
■6月中旬～7月初旬にかけて、45%の学生が就活を終了

就職活動の状況に関する問いに対して、就職活動を終了したという学生は45%いました。この問いは定期的に登録学生に対して行っており、前回調査の6月15日以降の半月で約半数が就職活動を終了しています。また、就職活動を継続中の学生の中で、内定を取得している人は26%で、4人に1人は内定を保持したまま、就職活動を継続しています。



■就職活動において、今後サポートしてほしいこと (※複数回答可)

「今後サポートしてほしいこと」について複数回答で質問したところ、「個別面接対策」、「自己分析」、「企業研究」の回答が過半数を超えました。現在、就職活動を継続する学生の中には、「希望業界の変更」、「公務員希望から民間企業就職に切り替え」といった状況の学生も一定数おり、『改めて就職活動の基礎から体系的に学び直したい』というニーズがあることが伺えます。(【就職活動の全体像】図参照)



弊社でも、例年夏以降に就職活動を継続する学生を対象に「就活リスタートセミナー」を実施しています。(【プログラム例】参照)

内定ピークが落ち着く夏以降の時期だからこそ、3時間程度で就活を基礎からやり直す機会を提供することで、過去に参加した学生からは『新たに自分を見直すきっかけとなり、今後の就活のビジョンが見えた』『就活を始めたばかりで不安が大きかったが少し解消された』『就活における考え方が変わった』『自分に欠けていた部分を知ることができた』といったお声を多数いただいております。

各大学様のご状況に応じたセミナー実施やプログラム作成のご相談も承っておりますので、お気軽にご相談ください。

【プログラム例】

面接対策

- ・ 第一印象トレーニング
- ・ Web面接のコツ
- ・ 身だしなみ/マナー
- ・ 面接ロールプレイング

自己分析

- ・ 強み/価値観分析
- ・ 企業選びの軸作成
- ・ 自己PR作成

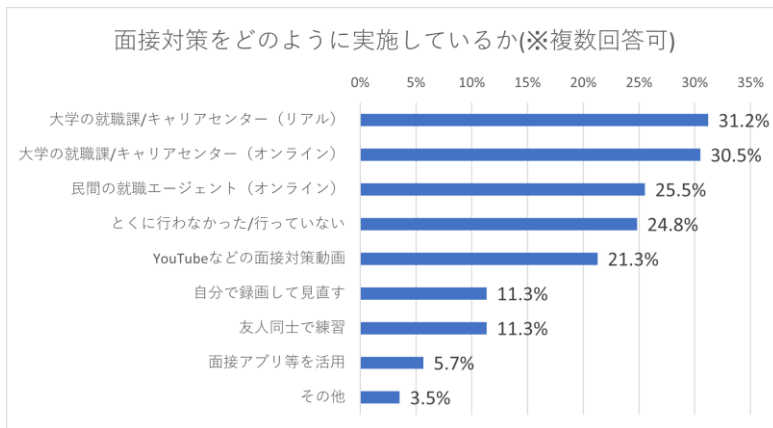
企業研究

- ・ 企業探しのコツ
- ・ 業界/職種研究
- ・ 企業研究のやり方
- ・ 逆質問作成

■面接対策をどのように実施しているか（※複数回答可）

「面接対策をどのように実施しているか」について複数回答で質問したところ、「大学の就職課/キャリアセンター（リアル）」が31.2%、次いで「大学の就職課/キャリアセンター（オンライン）」が30.5%となり、他の面接対策の手段に比べて、就職課・キャリアセンターを利用する学生が多いことが分かりました。

また、5人に1人はYouTubeなどの動画で面接対策をしています。ジェイックでも今年6月に動画で面接対策ができる「スキマデ就活チャンネル」を開設しました。約5分で面接対策ができる動画をアップしていますので、是非ご活用ください。



◆スキマデ就活チャンネル



「隙間時間で就活」をコンセプトに、就活やキャリアに関するお役立ち情報を配信！

<配信コンテンツ>※予定を含む

- ・就活基礎講座
(面接や自己分析の基礎の解説など)
- ・就活実践講座
(履歴書や面接での合否のポイントの解説、企業インタビューの実施など)
- ・キャリア開発講座
(業界や職種の解説、企業紹介動画、社会人インタビューの実施など)
- ・就職活動のトレンド解説や、就職活動に関する時事ネタ

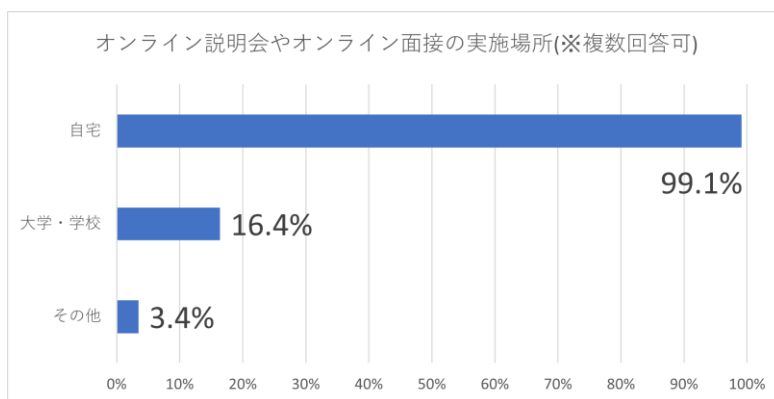


YouTube URL : <https://www.youtube.com/channel/UCWRe3Uf95-ITcUFiu2YTpCQ>

■オンライン説明会やオンライン面接の実施場所（※複数回答可）

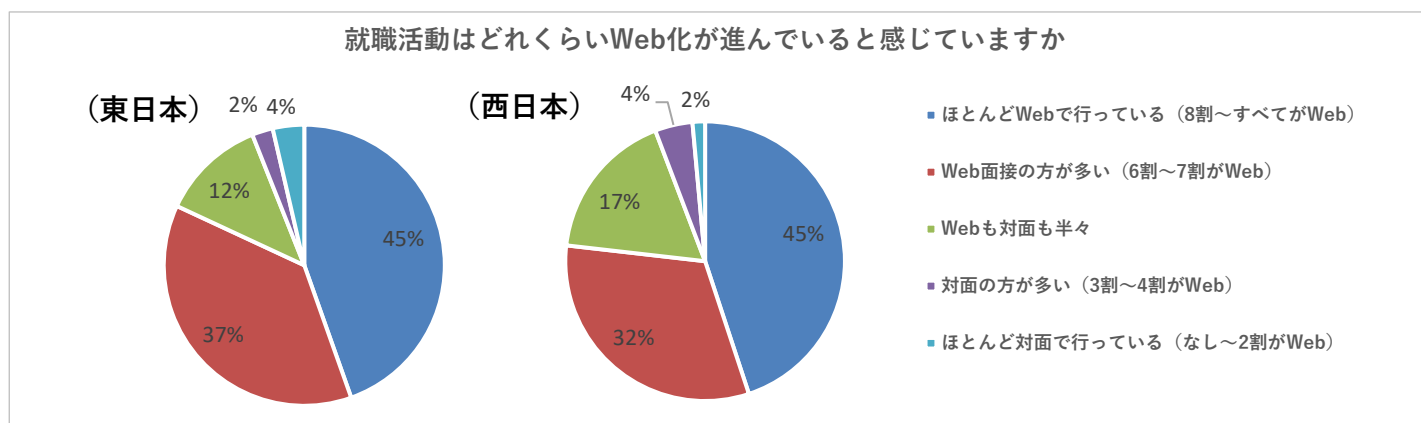
「オンライン説明会やオンライン面接の実施場所」について複数回答で質問したところ、「自宅」と回答した学生の割合が99.1%と大多数を占めました。「その他」の回答の中には、「ネットカフェやカラオケなどの有料の個室スペース」、「カフェなどの飲食店」などが見られました。自宅を中心にオンラインでの就職活動を進める一方で、大学の授業やアルバイトの合間には、大学や学校のスペースを利用したり、街中でスペースを確保したりしていることが考えられます。

前頁の「就職活動において、今後サポートしてほしいこと」の質問の際には、場所の提供と回答した人は1%ほどしかおらず、面接場所に関してはあまり困っていないようです。



■就職活動のWeb化に関して

「就職活動はどれくらいWeb化が進んでいると感じていますか?」という質問に対し、東日本と西日本の大学に通っている学生で違いがあるのかをみたところ、エリアでの大きな差はありませんでした。いずれも7割以上の就職活動や面接がWebになっています。ジェイックで行っている就職支援も一部を対面で実施するなど、引き続きオンライン中心であることは変わらずも、目的によって対面でも就職支援を実施しています。



学生に伝えたい、トラブルを起こさないための労働条件の知識

内定をとって一安心の学生もいれば、就活がうまくいかず焦りを感じ始める学生も多いこの時期。いずれの場合でも、就職活動や社会人生活において知っておきたいことの1つが、労働条件に関する知識です。そこで今回は、社会保険労務士でキャリアコンサルタントの資格ももつ北井一行先生に、学生の皆さんに伝えたい労働条件の知識について話を聞いてみました。



企業・店舗に対する労務管理のコンサルティングや企業研修、経営者向け機関誌の執筆・講演活動を行う一方、学生への労働法教育・キャリア支援を行う等、多彩な実績を持つ社労士。特定社会保険労務士・国家資格キャリアコンサルタント

北井 一行 先生

■学生に対して、アルバイトの労働条件を知っているか聞いた調査では、基本的なルールを知らない人が大多数という結果に

2015年に厚生労働省が大学生等1000人に対して行った調査によると、「アルバイト代を事業主が一方的に引き下げることにはできない」ことを知っている人は24.8%で、「アルバイトでも時間外労働や深夜労働には割増賃金を払う必要がある」ことを知っている人も42.7%に過ぎないなど、大半の学生が、労働条件に関する知識をあまりもっていないことがわかりました。この結果から、正社員の労働条件の知識も十分には有していないことが推察されます。実際、私が接している学生にも、就職後の労働条件についてあまり知らない人が多くいます。

■「労働条件相談ほっとライン」で多いのは、「労働時間」「給料」「休日」に関する相談。まずはここから伝えたい

一方、厚生労働省が同年に公表した「労働条件相談ほっとライン」に多く寄せられた内容では、多い順に「休日・休暇」「賃金不払残業」「長時間労働」という内容でした。「労働条件相談ほっとライン」は対象を学生に限らない相談窓口ですが、多い相談内容は、学生の認知率が低い項目と重なる印象です。ですから「休日」「給与・残業代」「労働時間」等の知識は、学生の皆さんに教える必要性が特に高い内容であると言えます。

■労災保険についても、知らない人がほとんどなのが実情

労災保険についても、右の調査結果で「アルバイトでも仕事によるけがは労災保険を使う必要がある」と知っている人が約3割に過ぎないように、あまり知らない人がほとんどです。

大切な内容ですので、知らない学生には教えてあげるのがよいでしょう。

学生の皆さんには、就活の進め方や仕事の楽しさ・意義等とともに、こうした「自分を守る」知識も合わせて教えたいものです。貴校では、これらの知識を学生に伝える機会を用意されていますでしょうか？

■厚生労働省主催【大学生・高校生等のための労働条件セミナー】（無料）もご利用ください

厚生労働省は、学生に対して労働条件の知識や事例等を伝えるセミナーを開催しています。希望される大学に講師を派遣して行う「学内開催・講師派遣型」のセミナーを対面またはオンラインで提供しているほか、東京・大阪・名古屋では、学生または職員の皆様が一人から参加できるオープン型のセミナーも秋に実施します（東京10/11、大阪10/4、名古屋10/5。全日15:00～16:30）。いずれも費用はかかりませんので、ご興味のある方はホームページをご覧ください。

学生1000人にきいた、アルバイトの労働条件について知っていること

- ・アルバイト代を事業主が一方的に引き下げることにはできない
→認知率24.8%
- ・アルバイトでも、時間外労働（1日8時間を超えた場合など）や深夜労働（午後10時から午前5時）には、通常の賃金の2割5分以上の金額を支払う必要がある
→認知率42.7%
- ・アルバイトでも、一定の条件を満たせば年次有給休暇が付与される必要がある
→認知率41.4%
- ・アルバイトでも仕事によるけがは労災保険を使う必要がある
→認知率32.3%

出所：厚生労働省「大学生等に対するアルバイトに関する意識等調査」2015年

北井講師が薦める「これだけは学生に教えたい」労働条件の知識5選

- 1) 給料に関すること（賃金支払い5原則、残業代の意味など）
- 2) 労働時間に関すること（法定労働時間、シフト制等の意味や関連するルールなど）
- 3) 休日に関すること（法定休日、有給休暇などの意味や関連するルールなど）
- 4) 退職に関すること（自主退職、解雇などの意味や関連するルールなど）
- 5) 社会保険に関すること（労働保険・社会保険の説明と事例の紹介など）

令和4年 労働条件セミナー 検索

パソコンの方は「令和4年 労働条件セミナー」で検索、スマートフォン等の方は右のQRコードを読みこんでください。



最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なご意見をお寄せください。右のQRコード、もしくはURLからご回答をお願いいたします。

現在、多くの大学様から、就職支援のご依頼を受けております。お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。最新情報や貴校に合わせた支援内容をご提供させていただきます。

キャリアのミカタアンケート
<https://forms.gle/kT65FRVdsrj1FXgk8>

